

生活交通の維持・確保に関する方策について

千葉県バス対策地域協議会安房分科会

乗合バス事業については、平成 14 年 2 月の改正道路運送法の施行に伴い、需給調整規制は廃止され、事業への参入・退出等の規制が緩和されました。

これにより、交通需要の少ない地方部における乗合バス路線については、不採算路線からの退出の加速が懸念され、地域住民の皆様にとって真に必要な生活交通の確保に支障を来すことが危惧されています。

このため千葉県では、「千葉県バス対策地域協議会」を設け、さらに各地域に「分科会」を設けて地域のニーズに応じた具体的な生活交通確保のための方策を協議することとしています。

このたび安房分科会では、乗合バスを運行するバス事業者から今後の運行について協議の申出のあった路線について、別添のとおり協議しましたので、その結果を公表します。

令和 6 年 7 月 4 日

千葉県バス対策地域協議会安房分科会
(事務局：安房地域振興事務所企画課内)
電話 0470 (22) 7133

千葉県バス対策地域協議会第 1 回分科会協議結果総括表

分科会名：安房分科会
協議年月日：令和 6 年 3 月 2 6 日

協 議 路 線				関 係 市 町 村	分科会における協議結果	備考
事 業 者 名	路 線 名	起 点 ・ 終 点 (経 由 地)	協 議 申 出 内 容 (実施予定年月日)			
日東交通 株式会社	館山鴨川線	館山駅・亀田病院 (鴨川駅東口)	国県補助を受けて 運行を維持 (令和 6 年 10 月 1 日)	館 山 市 鴨 川 市 南 房 総 市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(館山市、鴨川市、南房総市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)	

令和 7 年度地域間幹線系統確保維持計画

○事業に係る目的・必要性、目標・効果、取組

No.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
1	日東交通株式会社	館山鴨川線	館山駅・亀田病院(鴨川駅東口)	・館山駅や安房鴨川駅等交通結節点へのアクセス ・亀田総合病院、安房地域医療センター等医療機関への通院 ・おどやスーパーセンター等商業施設へのアクセス ・道の駅グリーンファーム館山や、館山いちご狩りセンター等観光施設へのアクセス ・その他、通勤や各高校への通学等	令和 6 年度と比較して収支率 1%以上の改善	【路線の見直し等】 ・沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。 ・南房総市地域公共交通計画及び南房総・館山地域公共交通計画において、当該系統を幹線として位置づけており、支線との連携を改善し幹線としての機能強化を検討する。 ・JR ダイヤ改正に合わせ運行計画の変更を検討するとともに、利用者の動向の把握に努め、ニーズに沿った運行計画を検討する。	令和 6 年 10 月以降 実施予定	館山市・南房総市・日東交通株式会社
						【広報】 ・経済的な乗車方法（現在販売中のスマホ乗車券等）の周知に努め、市広報等で定期的な情報発信を実施し、利用者の増加を図る。 ・公共交通マップを作成し、本路線の更なる周知を図る。 ・ホームページ等の電子媒体及び市広報誌等の紙媒体を活用し、路線に関する情報提供や利用促進を行う。 ・高齢者の外出支援としてバス利用助成券制度の啓発を行う。		館山市、南房総市、日東交通株式会社 館山市、南房総市 南房総市・館山市・鴨川市・日東交通株式会社 南房総市

						・バス停留所の認知度を上げることにより、利用増進に繋げるため、わかりやすい名称への変更を検討する。	令和6年10月以降 実施予定	南房総市、日東交通株式会社
						【その他】 ・公共交通の乗り方教室やPRイベントを実施する。	令和6年10月以降 実施予定	鴨川市、日東交通株式会社

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

千葉県バス対策地域協議会安房分科会で協議のうえ作成した「地域間幹線系統確保維持計画（原案）」について、令和6年3月26日から同年4月12日まで意見を募集したところ、館山鴨川線（日東交通㈱）について意見をいただきました。提出された意見及び検討結果の概要は次のとおりです。

- 1 意見の提出件数 4 件
- 2 意見の概要と検討結果 以下のとおり

意見の概要	検討結果
館山-鴨川線について、鴨川市内線と統合し、安房小湊駅～館山イオンに延伸してみてはどうか。	沿線関係市に確認したところ、鴨川市内線への統合については、館山鴨川線と鴨川市内線を統合すると鴨川市内線の運行回数維持が困難となるため、運転手不足が課題となっている現状にあっては難しいのではないか、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
亀田病院までバス１本で行けるので大変便利。日によっては満席に近いような時もあった。朝の時間帯の需要は、まだまだあると思う。	沿線関係市に確認したところ、館山鴨川線について「ニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととしており、いただいたご意見の内容に対応していると考えられます、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、令和７年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
亀田病院から館山行きのバスには乗れないことが多い。身体が不自由な人のためにもバス停で2～3分の停車時間があってもいいのではないか。	沿線関係市に確認したところ、時間に余裕を持ってバス停でお待ちいただくとともに、もし早発があった場合は、運行事業者に連絡していただきたい、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
・JRダイヤ変更に伴う運行計画の検討とあるが、いい取組だと思う。もし変更する場合は生活に影響する為、あらかじめ期間に余裕を持って事前に広報いただき、減便とならないよう強く願う。 ・朝7時台は通院に使用する高齢者に加え、通勤・通学に使用の方が多く見受けられ利用率も高いが、帰宅の時間帯、館山駅に向かう便が少なく非常に不便な為、電車の使用、長時間の待ち時間を強いられている状況が想定される。 ・17時近くに千倉線とあまり差がない時間帯もあれば、そのあと100分も間が空く便もあるので、効率の良い路線運行をお願いしたい。 ・通勤・通学・通院に欠かせず、年齢問わず利用されているので今後の路線維持、利便性向上を強く願う。	沿線関係市に確認したところ、電車との乗継利便性についても勘案する必要があるため、JR東日本のダイヤ改正に合わせ、バスのダイヤも必要に応じ見直しており、改正する場合は早期の周知に努めたい、との回答がありました。 計画に記載のとおり、路線の見直し等については、「沿線周辺施設への需要等、本路線のニーズの把握に努め、必要に応じて見直しを検討する。」こととし、広報については、「ホームページ等の電子媒体及び市広報誌等の紙媒体を活用し、路線に関する情報提供や利用促進を行う。」こととして、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

別記第 7 号様式

千葉県バス対策地域協議会第 2 回分科会協議結果総括表

分科会名：安房分科会

協議年月日：令和 6 年 7 月 1 日

協 議 路 線				関 係 市 町 村	分科会における協議結果	備考
事 業 者 名	路 線 名	起 点 ・ 終 点 (経 由 地)	協 議 申 出 内 容 (実施予定年月日)			
日東交通 株式会社	館山市内線	館山航空隊・なむや (館山駅前・イオン) 館山航空隊・小浜 (館山駅前・イオン) 館山航空隊・なむや (館山駅前) 館山航空隊・小浜 (館山駅前)	国県補助を受けて 運行を維持 (令和 6 年 10 月 1 日)	館 山 市 南 房 総 市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(館山市、南房総市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)	

令和7年度地域間幹線系統確保維持計画

○事業に係る目的・必要性、目標・効果、取組

No.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
2	日東交通株式会社	館山市内線	館山航空隊・なむや （館山駅前・イオン） 館山航空隊・小浜 （館山駅前・イオン） 館山航空隊・なむや （館山駅前） 館山航空隊・小浜 （館山駅前）	・館山駅や道の駅とみうら枇杷倶楽部等交通結節点へのアクセス ・館山駅周辺の病院や亀田ファミリークリニック、赤門整形外科内科等の医療機関への通院 ・イオンタウン館山等商業施設へのアクセス ・富浦小学校児童の通学 ・その他、通勤や各高校への通学等	令和6年度と比較して収支率1%以上の改善	【路線の見直し等】 ・他路線との競合区間や、利用者から要望のある地域について、運行の効率化や利便性向上のための検討を実施する。 ・南房総市地域公共交通計画及び南房総・館山地域公共交通計画において、当該系統を幹線として位置づけており、支線との連携を改善し幹線としての機能強化を検討する。 ・JRダイヤ改正に合わせ運行計画の変更を検討するとともに、利用者の動向の把握に努め、ニーズに沿った運行計画を検討する。	令和6年10月以降実施予定	館山市・南房総市 日東交通株式会社 南房総市・館山市 日東交通株式会社
						【広報】 ・経済的な乗車方法（現在販売中のスマホ乗車券等）の周知に努め、市広報等で定期的な情報発信を実施し、利用者の増加を図る。 ・公共交通マップを作成し、本路線の更なる周知を図る。 ・検索サイトへの情報提供及びホームページの更新を行う。 ・高齢者の外出支援としてバス利用助成券制度の啓発を行う。	令和6年10月以降実施予定	館山市、南房総市、 日東交通株式会社 館山市、南房総市 館山市・南房総市・日東交通株式会社 南房総市
						【その他】 ・公共交通乗り方教室やPRイベントを実施する。 ・利便性向上のため、キャッシュレス決済の導入検討を行う。	令和6年10月以降実施予定	日東交通株式会社 館山市・南房総市・日東交通株式会社

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

千葉県バス対策地域協議会安房分科会で協議のうえ作成した「地域間幹線系統確保維持計画（原案）」について、令和6年3月26日から同年4月12日まで意見を募集したところ、館山市内線（日東交通㈱）について意見をいただきました。提出された意見及び検討結果の概要は次のとおりです。

- 1 意見の提出件数 4 件
- 2 意見の概要と検討結果 以下のとおり

意見の概要	検討結果
学生や免許のない方、高齢者にとって移動手段として欠かせないものなので、これ以上便を減らさないで欲しい。 また、IC カード化や回数券を復活するなど現金を使わなくてもよい方法を検討してほしい。	沿線関係市に確認したところ、現金を使わなくてもよい方法の検討については、南房総・館山地域公共交通計画において利用しやすい環境の整備項目として検討事項となっており、関係者間で導入検討協議が始まっていることから、キャッシュレス決済の導入検討を行います、との回答がありました。このため、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画について修正いたします。 なお、その他の項目については、計画に記載のとおり、「他路線との競合区間や、利用者から要望のある地域について、運行の効率化や利便性向上のための検討を実施する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
館山市内線について、土曜日に枇杷倶楽部まで乗車しているが、乗車人数が少ない。でも、富浦の自家用車を持たない人達にとっては、必要不可欠なものだとも思う。 学生の登下校時以外は使用されていないスクールバスを市民も使用できるようなシステムができたら良いのではないか。	沿線関係市に確認したところ、館山市内線について「運行の効率化や利便性の向上のための検討を実施する。」こととしており、いただいたご意見の内容に対応していると考えられます、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「他路線との競合区間や、利用者から要望のある地域について、運行の効率化や利便性向上のための検討を実施する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
なむや～館山航空隊のバスは、鴨川からのバスが10分遅れても平気で定時に発車する。（乗継を考慮してほしい） また、1時間に1本でなく、もう少し増便してほしい。	沿線関係市に確認したところ、ご意見にある乗り継ぎについては、今後の関係者間の協議時に参考とさせていただきます、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「他路線との競合区間や、利用者から要望のある地域について、運行の効率化や利便性向上のための検討を実施する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

意見の概要	検討結果
・通勤時間帯(7 時台)は学生の利用者も多く混雑しており乗れない時もある。 ・帰宅時間帯(17 時・18 時台)はそれぞれ 1 時間に 1 本しかなく利用しづらい。通勤時間帯は 2 本ずつあるのに帰宅時間帯は 1 本ずつしかないので、もう 1 本ずつ増やして頂きたい。 ・館山市の魅力である海が見える海岸線をバスが通らないのは勿体ない。また、雨天時には市内線を西高生も利用するため混雑する。海岸を通るルートを増やせば混雑解消にもつながるのではないか。 ・市内循環バスがバイパスに通るようになったが、船形地域には循環バスが通らないので不便な状況が続いている。 ・現在は現金でしか支払いができず、事前に小銭を用意しておかなければならないので不便。Suica を導入してほしい。	沿線関係市に確認したところ、現金を使わなくてもよい方法の検討については、南房総・館山地域公共交通計画において利用しやすい環境の整備項目として検討事項となっており、関係者間で導入検討協議が始まっていることから、キャッシュレス決済の導入検討を行います、との回答がありました。このため、令和 7 年度地域間幹線系統確保維持計画について修正いたします。 なお、その他の項目については、計画に記載のとおり、「他路線との競合区間や、利用者から要望のある地域について、運行の効率化や利便性向上のための検討を実施する。」こととし、令和 7 年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

千葉県バス対策地域協議会第 1 回分科会協議結果総括表

分科会名：安房分科会
協議年月日：令和 6 年 3 月 2 6 日

協 議 路 線				関 係 市 町 村	分科会における協議結果	備考
事 業 者 名	路 線 名	起 点 ・ 終 点 (経 由 地)	協 議 申 出 内 容 (実施予定年月日)			
日東交通 株式会社	鴨川市内線	仁右衛門島入口・ 誕生寺入口 (天津駅前)	国県補助を受けて 運行を維持 (令和 6 年 10 月 1 日)	鴨 川 市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(鴨 川市) の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)	

令和 7 年度地域間幹線系統確保維持計画

○事業に係る目的・必要性、目標・効果、取組

N o.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
3	日東交通株式会社	鴨川市内線	仁右衛門島入口・誕生寺入口 (天津駅前)	- 沿線住民の亀田病院等の医療機関への通院 - 沿線の職場への通勤やＪＲ駅の利用、各学校への通学	令和６年度と比較して収支率１％以上改善	【広報】 ホームページ等の電子媒体及び市広報誌等の紙媒体を活用し、路線に関する情報提供や利用促進を行う。	令和６年１０月以降	鴨川市、日東交通株式会社
						【その他】 - 公共交通の乗り方教室やPRイベントを実施する。 - JRダイヤ改正に合わせ運行計画の変更を検討するとともに、利用者の動向の把握に努め、ニーズに沿った運行計画を検討する。	令和６年１０月以降	鴨川市、日東交通株式会社 日東交通株式会社

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

千葉県バス対策地域協議会安房分科会で協議のうえ作成した「地域間幹線系統確保維持計画（原案）」について、令和6年3月26日から同年4月12日まで意見を募集したところ、鴨川市内線（日東交通㈱）について意見をいただきました。提出された意見及び検討結果の概要は次のとおりです。

- | | |
|--------------|--------|
| 1 意見の提出件数 | 1 件 |
| 2 意見の概要と検討結果 | 以下のとおり |

意見の概要	検討結果
・鴨川市内線について、バス運賃が電車の倍以上のため利用されにくいのではないか。補助金を導入し、安価にならないか。 ・鴨川市内線はベイシア周りにして買い物客が利用し易いようにしてみてもどうか。	日東交通（株）及び沿線関係市に確認したところ、鴨川市内線のベイシア経由ルートへの変更は、県道浜波太港線（247号線）を通らなくなることなどから難しいと思われるが、ベイシア周りの運行については検討させていただく、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「ホームページ等の電子媒体及び市広報誌等の紙媒体を活用し、路線に関する情報提供や利用促進を行う。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。

千葉県バス対策地域協議会第 1 回分科会協議結果総括表

分科会名：安房分科会
協議年月日：令和 6 年 3 月 2 6 日

協 議 路 線				関 係 市 町 村	分科会における協議結果	備考
事 業 者 名	路 線 名	起 点 ・ 終 点 (経 由 地)	協 議 申 出 内 容 (実施予定年月日)			
日東交通 株式会社	鴨川市内線 (鴨川駅前)	鴨川駅前・ 誕生寺入口 (天津駅前)	国県補助を受けて 運行を維持 (令和 6 年 10 月 1 日)	鴨 川 市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(鴨 川市) の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)	

令和 7 年度地域間幹線系統確保維持計画

○事業に係る目的・必要性、目標・効果、取組

N o.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
4	日 東 交 通 株 式 会 社	鴨川市内線 (鴨川駅前)	鴨川駅前・ 誕生寺入口 (天津駅前)	- 沿線住民の亀田病院等の医療機関への通院 - 沿線の職場への通勤やJ R 駅の利用、各学校への通学	令和 6 年度と比較して収支率 1 %以上改善	【広報】 ・ホームページ等の電子媒体及び市広報誌等の紙媒体を活用し、路線に関する情報提供や利用促進を行う。	令和 6 年 10 月以降 実施予定	鴨川市、日東交通株式会社
						【その他】 ・公共交通の乗り方教室やPR イベントを実施する。 ・JR ダイヤ改正に合わせ運行計画の変更を検討するとともに、利用者の動向の把握に努め、ニーズに沿った運行計画を検討する。	令和 6 年 10 月以降 実施予定	鴨川市、日東交通株式会社 日東交通株式会社

千葉県バス対策地域協議会第 1 回分科会協議結果総括表

分科会名：安房分科会
協議年月日：令和 6 年 3 月 2 6 日

協 議 路 線				関 係 市 町 村	分科会における協議結果	備考
事 業 者 名	路 線 名	起 点 ・ 終 点 (経 由 地)	協 議 申 出 内 容 (実施予定年月日)			
ジェイアールバス関東株式会社	南房州本線	館山駅・安房白浜 (安房神戸) 館山駅・安房白浜 (東光寺前)	国県補助を受けて 運行を維持 (令和 6 年 10 月 1 日)	館 山 市 南 房 総 市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(館山市、南房総市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)	

令和 7 年度地域間幹線系統確保維持計画

○事業に係る目的・必要性、目標・効果、取組

N o.	事業者名	系統名	起点・終点 (主な経由地)	1. 目的・必要性	2. 定量的な目標・効果	3. 目標を達成するために行う事業（生産性向上の取組を含む）		
						取組内容	実施時期	実施主体
5	ジェイアールバス 関東株式会社	南房州本線	館山・安房白浜 (安房神戸)	・館山駅や安房白浜駅等交通結節点へのアクセス ・館山駅周辺の病院等医療機関への通院 ・県立館山運動公園へのアクセス ・房南小学校及び安房特別支援学校の生徒・児童の通学 ・その他、通勤や各高校への通学等	令和 6 年度と比較して収支率 1%以上の改善	【路線の見直し】 ・総合病院の移転等による需要変化や、他路線との接続状況等を総合的に勘案し、利便性向上に向けた取組を検討する。 ・南房総市地域公共交通計画及び南房総・館山地域公共交通計画において、当該系統を幹線として位置づけており、支線との連携を改善し幹線としての機能強化を検討する。	令和 6 年 10 月以降 実施予定	館山市、南房総市、 ジェイアールバス関東 南房総市・館山市
						【広報】 ・経済的な乗車方法（現在販売中のスマホ乗車券等）の周知に努め、市広報等で定期的な情報発信を実施し、利用者の増加を図る。 ・検索サイトへの情報提供及びホームページの更新を行う。 ・公共交通マップを作成し、本路線の更なる周知を図る。 ・高齢者の外出支援としてバス利用助成券制度の啓発を行う。	令和 6 年 10 月以降 実施予定	館山市、南房総市、 ジェイアールバス関東 館山市、南房総市、 ジェイアールバス関東 館山市・南房総市 南房総市
						【その他】 ・地域自治体と競合事業者と連携して、スマホアプリから企画乗車券等を発売し利便性を上げ利用者を増やす。	令和 7 年 4 月以降 実施予定	ジェイアールバス関東株 式会社

						・自転車積載ラックを活用した地域住民の利用促進を検討する。また、旅行者サイクリストの利用促進施策を実施する。		シェアールハース関東株式会社
--	--	--	--	--	--	---	--	----------------

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

千葉県バス対策地域協議会安房分科会で協議のうえ作成した「地域間幹線系統確保維持計画（原案）」について、令和6年3月26日から同年4月12日まで意見を募集したところ、南房州本線（ジェイアールバス関東㈱）について意見をいただきました。提出された意見及び検討結果の概要は次のとおりです。

- | | |
|--------------|--------|
| 1 意見の提出件数 | 1 件 |
| 2 意見の概要と検討結果 | 以下のとおり |

意見の概要	検討結果
日中の時間帯は他手段（チョイそこ・館山病院送迎バス）が利用可能なため、これらが走っていない時間帯のほうへ便を移動する・終バスを少し遅い時間発車にするなどできると使いやすいと思う。	沿線関係市に確認したところ、ご意見にあるダイヤ修正については、今後の関係者間の協議時に参考とさせていただきます、との回答がありました。 また、ジェイアールバス関東（株）に確認したところ、南房州本線については、主に JR 内房線への接続を前提に時刻を設定しており、現行では接続等の修正については考えておらず、最終便については、ご利用状況を鑑みて現在の時刻を設定しております、との回答がありました。 計画に記載のとおり、「需要変化や、他路線との接続状況等を総合的に勘案し、利便性向上に向けた取組を検討する。」こととし、令和7年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。